



神崎市立
千代田中学校

第4号 文責(校長 原田 浩臣)

2024/6/28発行

“千代田中だより”

千代田中学校教育目標

夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身共に調和のとれた生徒の育成

<https://www.education.saga.jp/hp/chiyoda-j/> TEL 0952-44-2222



防災教育(水害対策)に取り組んでいます

今年度、本校は文部科学省から「学校安全総合支援事業(災害安全)」の指定を受け、生徒だけでなく教職員・保護者の防災意識の向上を目指す事業に取り組んでいます。神崎市の地域特性としては、北高南低の地形であり、千代田中学校区の地理的条件から想定される自然災害として、特に大雨による洪水・浸水等が考えられます。かつて、昭和28年には、城原川越水による水害が発生し、多数の浸水被害(佐賀市、佐賀郡、神埼郡を合わせて、床下浸水14,920戸、床上浸水14,597戸)を出しています。また、右の写真は、令和5年7月10日の大雨の時、千代田中学校そばの城原川の土手から撮ったものですが、城原川の越水を想定しなければならない状況でもあります。今回の事業を通して、水害を中心とした防災安全教育に取り組むことで、水害等の自然災害の危機に遭遇した際に、教職員は生徒を安全に避難させるための的確な指示及び対処を行い、生徒は迅速・的確、かつ冷静な対応をとり、自分はもちろんのこと、他人の生命・身体の安全を守る行動を身に付けさせることを目標としたいと考えています。



その一つとして、6月8日(土)に、土曜授業を開催し、授業参観を行いました。今回は「ふれあい道徳」を実施し、「防災教育」の内容を踏まえた道徳の授業を行いました。防災に関する題材「避難する? 避難しない?」(1・3年生)、「高いところに引越す? 引越さない?」(2年生)を取り扱い、参観した保護者の意見も交えた授業ができました。その後、体育館においてNHKアナウンサーと考える防災教室「言葉で命を守る」の講演会を行い、全校生徒・保護者の防災に対する意識の向上を目指しました。



また、18日(火)には、水害に伴う避難訓練(校舎内における垂直避難)および日本赤十字による訓練振り返りと講話を実施しました。その時の避難訓練開始時の教頭先生からの放送原稿を紹介します。

「訓練! 訓練! 緊急の放送です。先ほど佐賀県に線状降水帯発生情報が発令されました。本校付近でも浸水が予想されますので、垂直避難を行います。避難場所は3年1組は3階西多目的室へ、3年2組は音楽室、3年3組は3階東多目的室へ避難してください。1・2年生は教室で待機してください。この放送終了後、担当の先生の指示に従い、すみやかに移動してください。」

こうした、緊張感の中で、今後も防災教育を続けていきたいと考えています。

選手推戴式

19日(水)に、中学校総合体育大会及び各種コンクール選手推戴式が行われ、私から「大変強かった棋士の言葉を伝えます。それは『名人は負けてから悲しみ、勝ってから喜ぶ。普通の棋士は、負ける前に悲しみ、勝つ前に喜ぶ』という言葉です。まだ、戦っている最中に不利な状況で意気消沈したり、失敗した自分を責めたりすることがよくあります。逆に、まだ勝利が確定していないのに、大喜びして油断するときがあります。まだ、試合は終わっていません。結果が出るまでは、無心で戦い続けましょう。負けてから悲しみ、勝ってから喜びましょう」と伝えました。



その後、全体を代表してソフトボール部主将の選手宣誓では、

我々選手一同は、今こそ努力と情熱にみちた瞬間を生み出すとき、千代田中学校の代表として、笑顔あふれるPLAYをし、観ている人すべてを魅了することを誓います。

と元気に誓いの言葉を述べてくれました。また、各部活動の代表者が大会に向けての抱負を語ってくれました。

表彰者の紹介

大会名	成績
マスターズ全日本空手道選手権大会(アドバンスクラス)	優勝
第53回佐賀県中学陸上競技選手権大会(男子走り幅跳び)	第1位
第53回佐賀県中学陸上競技選手権大会(100mハードル)	第3位